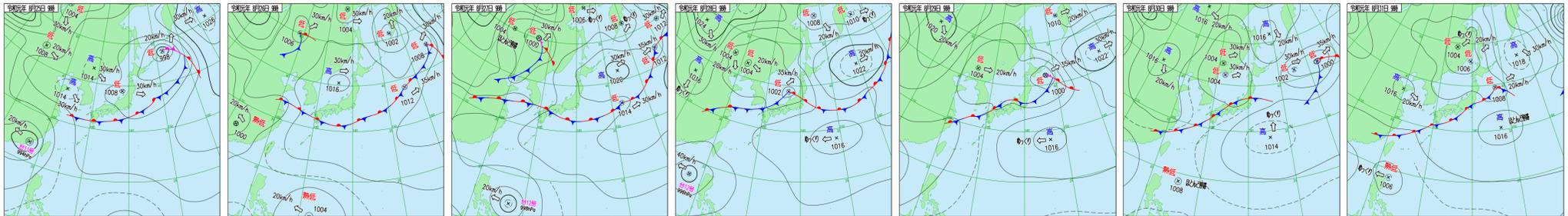


■天気図 (8月25日～8月31日 ※毎日午前9時を掲載)



【今期間の天候について】

■気圧配置の特徴

25日から26日にかけて、秋雨前線は東シナ海から九州南部を通り、日本の東海上に延びて停滞した。27日午前9時にフィリピンの東海上の熱帯低気圧が発達し、台風12号となった。28日にかけてフィリピンを通過し、南シナ海へと進んだ。秋雨前線は、27日は西から次第に北上し、28日から29日にかけて西日本の日本海側に停滞した。前線に向かって、西側から非常に湿った空気が流れ込み、そこに太平洋高気圧の縁辺を回る暖湿気が南から合流する状況が継続したことで、前線活動が活発となった。同じような場所で次々と積乱雲が発生し、九州北部では活発な雨雲が列をなした「線状降水帯」がかかったため、記録的な大雨となった。30日は秋雨前線が九州から関東の太平洋側まで南下し、31日にかけて停滞した。北海道では上空の寒気が流れ込んだ影響で大気の状態が非常に不安定となった。午後は猛烈な雨の降った所があった。

■降水

25日から26日は上空の寒気の影響で、東北や関東甲信越で大気の状態が不安定になった。1時間降水量が、25日は新潟県上越市筒方方で53.0mmと非常に激しい雨を観測し、観測史上1位の値を更新。26日は群馬県高崎市榛名山で82.5mmの猛烈な雨を記録。27日から29日にかけては、秋雨前線が西日本日本海側に停滞。東シナ海から九州北部にかけて対流雲が次々と発達し、「線状降水帯」が形成されたことで九州北部では記録的な大雨になった。26日～29日の総降水量が、長崎県平戸市で626.5mm、佐賀県



唐津市で533.0mmを観測など、8月の月降水量平年値の2倍を超える雨量を記録した所もあった。長崎県、佐賀県、福岡県では「大雨特別警報」が発表され、長崎県壱岐市では50年に一度の大雨になった。この大雨に伴い、九州北部では人的被害や住宅の損壊・浸水などの被害が発生した。31日は、北海道岩見沢市付近や三笠市付近で1時間に約100mmの猛烈な雨を解析。記録的短時間大雨情報が発表された。

■気温

25日から26日は秋雨前線が本州の南海上に停滞。本州は秋の空気に覆われ、猛暑日は観測されなかった。27日から28日は西～北日本の広い範囲で雨が降り、真夏日の地点数が減少。27日は65地点、28日は92地点で、真夏日地点は100地点を下回った。29日は南海上から流入する暖湿気や日射の影響で、西～東日本太平洋側で気温が上昇。埼玉県越谷市で35.1℃、三重県尾鷲市で35.0℃を記録し、7日ぶりに猛暑日が観測された。今期間、沖縄地方は太平洋高気圧に覆われて、連日の真夏日となった。

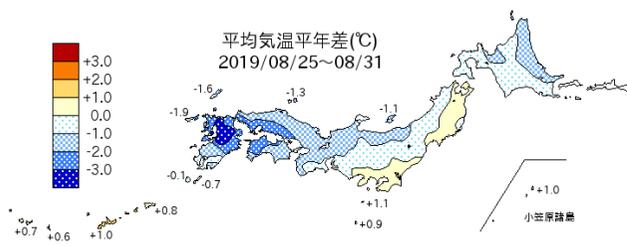
■今期間（8月25日～8月31日）の天候のまとめ

平均気温は、秋雨前線が西日本の日本海側に停滞し、曇りや雨の日が続いた影響で、西日本や北陸で平年より低くなった。特に、九州北部では平年より3℃以上低かった。北海道でも、オホーツク海側を中心に平年より低くなった。一方、関東南部や東北太平洋側では平年より高くなった。

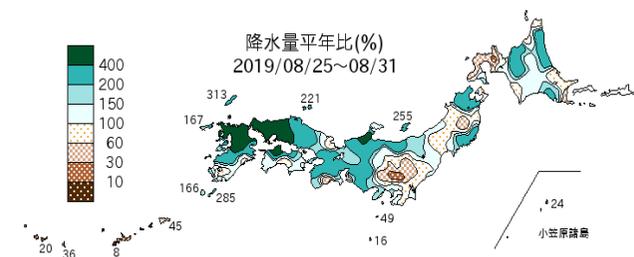
降水量は、秋雨前線が停滞した西日本の日本海側や北陸を中心に多くなった。特に、線状降水帯が形成された九州北部や中国では総降水量が多くなり、福岡や広島では平年の6倍以上の降水量となった。一方、沖縄や関東、東北、北海道の道南では平年より降水量が少なく、那覇では平年の8%と極端に降水量が少なかった。

日照時間は、九州から東南北部にかけて平年を下回った所が多くなった。特に、九州や四国を中心に日照時間が短く、長崎では平年の10%以下となった。一方、南西諸島や東北北部、北海道の道央・道南では平年並みか平年を上回る所が多かった。

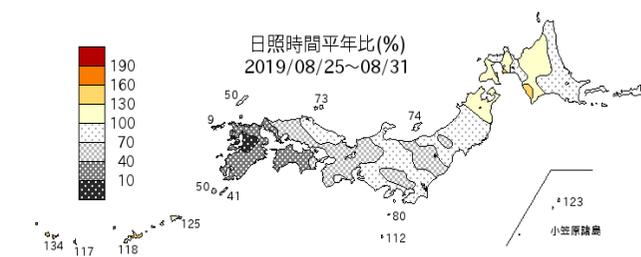
■平均気温（℃）と平年差（℃）



■期間総降水量（mm）と平年比（%）



■日照時間の平年比（%）



札幌	20.3 (-1.1)	旭川	18.8 (-1.0)
網走	17.6 (-1.5)	釧路	17.9 (0.0)
室蘭	20.1 (-0.2)	秋田	23.5 (-0.4)
仙台	24.2 (+0.6)	前橋	25.7 (0.0)
東京	26.3 (+0.4)	長野	23.1 (-1.3)
新潟	24.1 (-1.5)	金沢	24.9 (-1.3)
名古屋	26.3 (-0.9)	大阪	26.1 (-2.0)
松江	24.5 (-1.4)	広島	25.0 (-2.5)
高知	25.2 (-1.8)	福岡	24.2 (-3.1)
長崎	24.5 (-2.7)	宮崎	25.9 (-0.9)
鹿児島	27.1 (-1.0)	那覇	29.5 (+1.0)

札幌	29.0 (86)	旭川	47.0 (139)
網走	17.0 (70)	釧路	73.5 (199)
室蘭	19.5 (42)	秋田	37.0 (85)
仙台	35.0 (83)	前橋	30.5 (66)
東京	40.0 (105)	長野	23.5 (100)
新潟	62.5 (186)	金沢	167.5 (480)
名古屋	86.0 (246)	大阪	50.0 (229)
松江	111.5 (363)	広島	148.5 (602)
高知	37.5 (62)	福岡	279.0 (697)
長崎	154.0 (281)	宮崎	64.5 (109)
鹿児島	37.5 (71)	那覇	4.5 (8)

札幌	100	旭川	105	網走	92
釧路	73	室蘭	141	秋田	98
仙台	76	前橋	76	東京	65
長野	82	新潟	73	金沢	70
名古屋	79	大阪	55	松江	76
広島	48	高知	18	福岡	21
長崎	9	宮崎	30	鹿児島	30
那覇	118				